

# イノベーション創出に向けた取組

# 場の提供

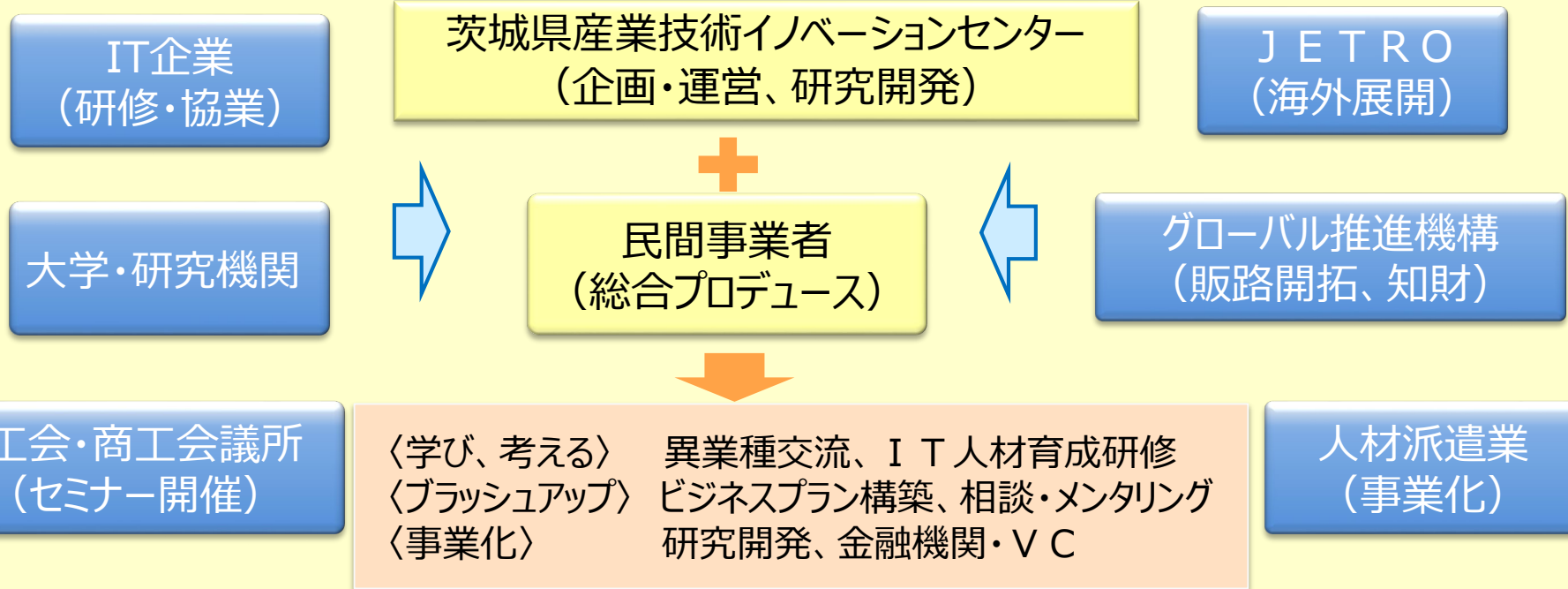
# 人材の確保

令和3年3月16日

茨城県産業戦略部長 前田 了

## ◆ ビジネス創出

- 製造業中心の支援から、業種ではなく、アイデア重視へ
- 自前にこだわらず、県内外の優れた仲間の力を借りる  
(必要な投資は、過去の相場観を持ち込まず実行)



➡ 「つなぐ」ことに、政策の余地は大きい  
国の施策を踏まえた、県ならではの役割の追求が有効ではないか

## ◆ 研究開発支援

➤ 有望分野にセンターの経営資源を集中し、意欲ある事業者には支援を重点化

➤ センターの研究人材・資金を3分野に集中

➔ IT・AI・ロボット／宇宙／先端材料

➤ 民間でできることは民間へ

➔ 民間試験機関の活用促進

➔ センター設備の開放（依頼試験から設備利用へ）

共同研究を強化



めっきに代わるフィルム融着法  
環境負荷とコストの低減を実現



熟練技術の  
DB化  
ロボット化

下請け塗装から日本初の塗装コンサルへ  
遠隔地ビジネスも視野

支援を重点化

県内トップレベル企業

イノベーション創出

開発志向型企业

下請けからの脱却

加工・組立等  
下請型企業

➔ 「差別化」の徹底には、強いリーダーシップが必要

➔ 「ものづくり」に加え、ソフトウェア開発の促進が有効ではないか  
IT業界を始め、自社のソフト開発に、国の補助金を活用できないか 2

## ◆ 大企業のシニア人材 ◆ 外国人材支援センター

- ターゲットを絞り込み、施策をファインチューニング

地域にシニア人材を還流させる市場は未成熟（若手市場は活況）

### 大企業シニア人材

- ・ 役職定年が職業人生を考えるきっかけ
- ・ 地元への転職を考えたいが、情報不足
- ・ 自身の決断に加え、家族の説得が必要

### 県内中小経営者

- ・ 待遇（役職・賃金等）の相場観がない
- ・ 社員の手前、高賃金の提示が困難
- ・ 人事部がなく、経営者は忙しい

地域の  
人材派遣会社

### 人材派遣会社の負担感

- ・ 経営者の頭の整理（求める人材像の明確化）
- ・ シニア人材の面談代行
- ・ 家族の支援（地方生活への抵抗感の軽減）
- ・ 一人の職員が一貫して担当する必要

ノウハウ構築を支援  
自立化を促進

### 茨城県外国人材支援センターの取組

- ① **重点国を設定** ➔ ベトナム、インドネシア、ミャンマー、モンゴル
- ② **関係構築** ➔ 現地政府・教育機関（中央・地方）、在日大使館・コミュニティ等
- ③ **「茨城県」が選ばれる仕組み作り**  
➔ 企業視察ツアー・受入態勢整備、語学教育・帰国後の就職支援等

➔ コロナ禍の今こそ、どれだけアプローチを強化できるか